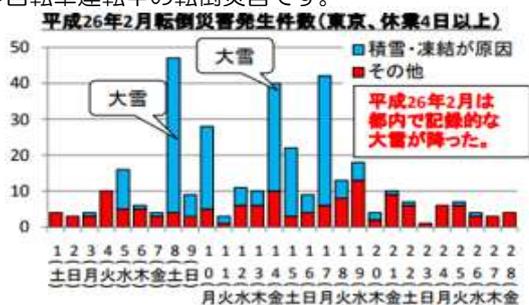


Legal Networks

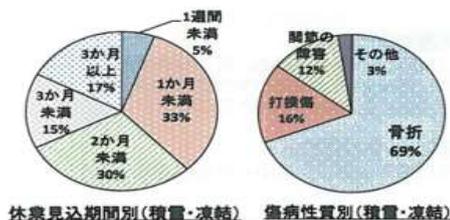
12

～積雪・凍結による転倒事故防止対策は万全ですか？～

今年も早いもので残り1ヵ月をきりました。寒さも厳しくなり、外出が億劫になる季節が到来しましたね。そんな寒い時期に多く発生するのが、積雪・凍結による転倒災害や自転車運転中の転倒災害です。



積雪の多かった平成26年は、積雪が少ない年と比べると、転倒災害の発生件数が大幅に増えています。転倒災害は、駐車場、建物入り口、坂道、屋外の階段などで多発しているほか、屋内でも雪などで床が濡れていることによる転倒が多発しています。



積雪・凍結が原因の転倒災害(平成26年、休業4日以上)のうち、6割以上が休業1ヵ月以上の休業期間であり、約7割が骨折という深刻なケガです。

転倒災害により、休業が発生しますと、作業効率などが低下して、業務に支障がでると考えられます。

天候に気を配り、事前に積雪・凍結による転倒災害の対策を講じることで、上記の予防にもつながりますので、ご興味のある方は、東京労働局のHPをご覧ください。是非取り組んでみてはいかがでしょうか。

※東京労働局HP
http://www.tokyo-shoemakers.jp/news/SKMBT_C20315020312160.pdf
※図はすべて東京労働局HP『積雪・凍結による転倒災害を防ごう!』より抜粋

～職場における労働災害防止対策のご案内～

前述の積雪・凍結による転倒災害以外にも、職場内の転倒災害が、年々増加しています。

積雪・凍結による転倒災害と同様に、休業4日以上での転倒災害のうち、約6割は休業期間が1ヵ月以上となっており、骨折などの深刻なケガも多く発生しています。

また、転倒災害の被災者を年齢別に見ると、約6割が50歳以上で、高齢者ほど転倒の危険が増加しています。

転倒災害は、大きく3種類に分けられます。

- ①滑り
 - 《主な原因》
 - ・床が滑りやすい素材である。
 - ・床に水や油が飛散している。
- ②つまずき
 - 《主な原因》
 - ・床に凹凸や段差がある。
 - ・床に荷物や商品など放置されている。
- ③踏み外し
 - 《主な原因》
 - ・大きな荷物を抱えているなど、足元が見えない状態で作業している。

上記の項目に当てはまる事項がありましたら、早めの対応が必要になると思います。

厚生労働省の方で、転倒災害の減少を図る為、「STOP!転倒災害プロジェクト」を推進しています。その中に「転倒災害防止のためのチェックシート」がありますので、活用してもらえると、職場内における転倒の危険を把握することができそうです。

具体的な転倒防止対策も3種類に分けられます。

- ①4S(整理・整頓・清掃・清潔)
 - ・歩行場所に物を放置しない。
 - ・床の汚れを取り除く。
- ②転倒予防教育
 - ・時間に余裕を持った行動。
 - ・足元が見えにくい状態での作業の禁止。
- ③その他の対策
 - ・作業に適した靴の着用。
 - ・危険標識や危険マップの作成による危険情報の共有。

以上のように、職場内の転倒リスクを把握し、防止対策を講じることで、円滑に作業ができるようになり、作業効率の向上にもつながると思います。ご興味のある方は、是非取り組んでみてはいかがでしょうか。

※厚生労働省HP
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11300000-Roudoukijunkyokuanzeniseibu/0000111161.pdf>

12月の労務管理スケジュール

- | | |
|------|---|
| 労務 | 12/1～12/30
11月分の社会保険料の納付 |
| 税務 | 12/1～12/10
11月分の源泉徴収所得税額・特別徴収住民税額の納付 |
| 給与計算 | 年末調整事務
賞与支給 |
| 労務 | 社会保険賞与支払届の提出 |



Legal Networks
CORPORATION

社会保険労務士事務所 リーガルネットワークス

〒160-0022
東京都新宿区新宿1-36-12サンカテリーナビル6F

<http://www.kintaikanrikenkyujo.jp>

TEL:03-6403-0861